

No.26

2003年

(平成15年)

同窓会だより

— 発行 —

旭川荘厚生専門学院
同窓会

— 発行者 —

同窓会会長 中尾 絹江

発行年月日 平成15年9月1日

岡山市祇園地先

TEL (086) 275-0145

FAX (086) 275-3283

平和をかみしめて



同窓会会長

中尾 絹江



卒業生の皆様お元気ですか。昨年十一月母校にて開催した総会及び岡山支部総会には、多くのご参加を戴きありがとうございました。卒業以来初めて訪れた方から、様変わりした学院の姿に驚きの声が聞かれました。学科の増設、吉井川キャンパスの開校とあわせ、一期生の私としては想像もつかなかった発展に、嬉し

いような、学び舎が遠くなってしまったような、複雑な心境です。ぜひ気軽にお立ち寄り下さい。お待ちしております。

今年も世界では大きな出来事が多々ありましたが、なかでも三月二〇日未明に米英軍が始めたその攻撃で、安全な場所にかくまわれた独裁者のかわりに、一般市民の生活破壊と殺

岡山支部だより

岡山支部長
西野 順子

同窓生の皆様、学院の先生方には、益々ご健勝のことと思います。

昨年、十一月二十三日同窓会総会及び岡山支部会を、同時に学院で盛大に行うことができました。

また、十年振りの同窓会名簿も、やっと完成し大半の皆様のお手元に届いていることと思います。住所変更により、作成に時間がかかりましたが、今回の住所で新たな交流が深まることを望んでおります。

学院では、介護福祉科、福祉研究科、精神保健福祉科が、吉井川キャンパスに移転し、五月三十一日に開所式が行われました。江草先生より

関西支部だより

関西支部長
吉川 千代子

この春、夢と希望を胸いっぱい

「人と人との心をつなぐ施設を目指し、福祉の町づくりに役立ちたい」と挨拶がありました。「旭川荘研修センターよしの川」は、全国の福祉施設職員やアジアなどからの研修を行うほか、地域住民の利用もできるそうです。次回、第七回岡山支部会は、平成二十年となります。五年は長いようですが、あつと言えそうです。その時に、お会いできることを楽しみにしております。

これからも、益々の学院の発展と、ご活躍をお祈り致しております。

数がおこなわれ、その状況がテレビに繰り返し放映されました。わけても恐怖と悲しみの連鎖につながれ、飢えて傷つく子どもたちのことをおもうと、事実から目を逸らしたくなると同時に背筋に冷たいものを感じました。「被爆国である日本こそ戦争反対の意思を明確に示して欲しい」と祈る思いです。皆さんの思いはいかがでしょうか。

一方、新型コロナウイルスの脅威には我が国でも、危機が迫ってきましたが、難を逃れたようです。それでも多くの方が亡くなられ、世界を恐怖の渦に巻き込んだ事件の一つでした。

改めて今、平和をかみしめ、悲しみの数が和らぐ世の中であるよう、願わずにはいられません。

各職場に学院で得た知識をたずさえて入職し、自分を信じ活躍されておられる新卒業生の皆様並びに、後輩の育成に力をそそがれておられる諸先輩の皆様お久しぶりです。皆様におかれましては、お元気に活躍のことと心より嬉しく思うのであります。早いもので、二〇〇三年の暮開けから六ヶ月が過ぎ去ろうとしています。昨年は学院開校三〇周年記念事業も催されました。二十五年振りに学院を訪問したといった同窓生も、学院の発展ぶりや学院周辺の変化を目のあたりにして驚いていました。医療業界のめまぐるしい変化の中で、より優れた看護及び介護等の提供の為に今年四月より吉井川キャンパスが開校されました。これからも学院の発展の為に皆様一人一人の縦と横のつながりが影響するものと考えます。

最後に、関西支部会としまして、

広島支部だより

広島支部長
加藤 勝子

卒業生の皆様には御健勝のこととおよろこび申し上げます。又、各施設長様をはじめ、旭川荘の教職員の皆様にはいつもお世話になりまして、ありがとうございます。

今年は、昭和四十六年の専門学校開設以来、次々と新しい学科も開設され、お忙しいことと思います。さらには旭川キャンパスに続き、吉井川キャンパスの開校も実施され、本当におめでたうございます。

新しい場所での勉強は、一段と輝けるものとお察しします。昔のことを思えば何もない土地にボツンと建物があつた時代とは変わって、今は学生もそれぞれの学科や種々の場所での勉強は楽しみであり、学ぶ場所としては最適だと考えます。学生として最高に幸せな環境にあることを一生の大切な思い出にして、医療や福祉の道を進まれますことを願っております。

これからはますます医療・福祉は重要な職業だと考えます。今以上に質の向上を目指して卒業生が一九となつて社会に貢献していきたいものです。広島支部はこれから先も皆様の協力を得て、同窓会を盛り上げていきたいと考えております。よろしくお願い致します。

平成十六年五月の第四日曜日に同窓会を西中島南方の、ホテルコンソルトにて開催致します。卒業生の皆様一人一人の積極的参加をお待ち申し上げております。

吉井川キャンパス開校



学院長 藤田 哲輔

同窓生の皆様方には益々お元気でご活躍のことと拝察いたしております。日頃から、本学院の教育推進につきましても物心両面からお力添えをいただいておりますことに心からお礼申し上げます。

今年も三六六名の新生を迎え、全学年七四三名でスタートし、勉学、実習にと、それぞれの目標に向かって頑張っております。

昨年の「同窓会だより」に少し紹介いたしました「吉井川キャンパス」が開校いたしました。場所は岡山市西大寺西六〇番地で、「裸祭り」で有名な西大寺観音院に近接し、永安橋を東に渡ったところで、岡山市の新産業ゾーンの一角に位置しています。ここでは、介護福祉科昼間コース、夜間コース、福祉研究科、精神保健福祉科の四つの学科コースの学生約三〇〇人が頑張っております。

吉井川キャンパスの特徴は、講義は一日四コマで、一コマ九〇分となっております。十六時には講義は終わります。その後、旭川荘でアルバイトをしたい人は紙園のほうへ来ます。西大寺の施設、病院でアルバイトしたい人はそこでもできます。

また、吉井川キャンパスは大変広い敷地がありますので、学生達は、マイカー通学を許可しています。もともと夜間コースがありますので、その関連からも許可に至っております。昨年度からできました「介護福祉

科夜間コース」と大学四年卒以上の人の「精神保健福祉科」は二年目を迎え、特に張り切って頑張っております。先行きが不安定な時代ですから、昼間働きの夜間コースでは、資格を取りたいの思いも強く、講義を聴くにも力が入っております。

精神保健福祉科も、目的がより明確なためか一期生の国家試験の合格率は全国平均が六五％なのに学院生の合格率は九五％とすばらしい成績でした。

今年度も旭川キャンパス、吉井川キャンパス共々、切磋琢磨しながらの一年でありたいと願っております。

五月三十一日に「吉井川キャンパス」と隣にできた旭川研修センター「よし川」の開所式が行われました。台風五号の襲来で危ぶまれた雨の中の式典も何とかでき、雨降って地固まるのごとく学院の第二の拠点ができました。この地は今後も三世代交流センター、グループホーム、おもちゃ図書館などいろいろと計画しております。この地を旭川荘、江草安彦理事長（学院名誉院長）は「結びの地」と名づけられました。

益々の発展に向けて学生、教職員共々頑張りたいものです。

最後になりましたが、今年も、卒業生の就職も一〇〇％決定し、元気に頑張ってくれています。今後の、学院のより発展に向けて、同窓生の皆様方の一層のご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

変動する二年課程
養成所の教育環境

看護科長 江口 瞳

看護科は、第一看護科と第二看護科で、現在の学生数は約四〇〇名弱が学んでいます。今回は、二年課程の動きについてお知らせしようと思

います。

「看護教育の廃止」に向けて大きく社会が動いていることは周知のとおりです。平成十四年度から高等学校衛生看護科の五年一貫教育が始まり、岡山県では早く看護婦学校養成所が閉鎖しています。それに伴い今後二年課程の閉校がなされる学校もあります。五月には、厚生労働省より通信教育制度の実施に向けて、全国の養成所等各学校への説明会が実施されました。今回、大きく変わったことは、十年以上の看護

護師としての臨床経験がある場合、臨床実習が免除されることです。ただし、本当に通信制への進学を希望する十年以上の層の人がどの位存在するのかわからないなどの課題があります。

会合などで看護護師の方々から、通信制の学校ができることを心待ちにしている声を耳にします。そのようなか中であって、本校ではどのようなあり方ができるのか、今現在はまだ



元気に！ 賑やかに！

副学院長
児童福祉科長

出口 隆一

児童福祉科は、この春五十二人の新生を迎えました。一年生は五月に旭川荘内の実習に出かけ、施設現場の雰囲気を感じて帰ってきたところ。二年生も七月から九月にかけて行われる保育所と施設での実習に向けた準備を進めています。元気で賑やかな児童福祉科の伝統(?)を守り、学生・教員ともに頑張っています。

ところで、児童福祉法の改正により保育士資格が法定化され、今年の十一月には登録制度もスタートします。卒業生の皆様にはそれぞれの職場を通して登録手続きを進められていくことと思いますが、何か不明なことなどありましたらお気軽に児童福祉科教員にお問い合わせ下さい。暗いニュースが多い最近の世の中ですが、児童福祉科はいつも明るく

安心できる場所でありたいと願っています。卒業生の皆様もお近くにお越しの際には、ぜひ元気を分けに来て下さい。

学科名を変更しました

福祉情報科

↓医療福祉秘書科

副学院長
医療福祉秘書科長

植田 恭臣

平成十五年四月より、学科名を「福祉情報科」から「医療福祉秘書科」へ変更しました。変更の狙いは、①学科名から将来の就職先・仕事を判断し易いように、②病院・施設から事務職として認知・求人をしていただけるように、の期待を込めて行いました。

医療福祉秘書科では、将来病院や施設の事務職員になるために必要な医学・福祉に関する専門的な知識、秘書マナーやコンピュータ利用技術の習得はもちろん、病院や福祉施設での実習を通して利用者の方々への対応の仕方なども学んでいます。

学科名変更を機に、定員三〇名の獲得と就職内定率一〇〇％を目指して頑張る覚悟です。

他科の卒業生同様、医療福祉秘書科の卒業生も、各病院・施設から「おたくの卒業生は、期待以上の頑張りをしてくれていますよ」とのうれしいお言葉を頂いておりますが、もっと多くの学生を入学させ、もっと多くの卒業生を出し、皆様のような素晴らしい先輩となって、後輩を引っ張ってくださる「良いサイクル」に成長していきたいと考えております。



介護福祉科(昼間課程)

夜間課程) 福祉研究科

科長 石橋 真二

平成十五年度より、介護福祉科(昼間課程・夜間課程)福祉研究科の科長としてお世話になることになりました。平成十二年度から十四年度までは福祉研究科の介護概論を非常勤講師として担当させていただいておりました。香川県出身であり、週に一回、岡山へ通っていたのが、旭川荘とご縁があり、毎日の岡山通勤となりました。

今年度は、介護福祉科(昼間課程・夜間課程)、福祉研究科の3課程が吉井川キャンパス開校に伴って西大寺に移転いたしました。卒業生の皆様も機会があれば、是非、一度見学に来てください。特に私の授業を受講した福祉研究科の卒業生の皆さん、お待ちしております。

なお、皆様におかれましては、今後とも後輩の育成に努めていただくと共に資質の向上に努めてご活躍されることを祈念申し上げます。



介護福祉科の紹介

介護福祉科 教務主任

土屋 基巳

卒業生のみなさんお元気ですか？昭和六十三年に全国二十五校の校としてスタートして、早いもので十六期生を迎えました。これまで一〇〇〇人を越す卒業生が、北は北海道、南は九州・沖縄まで、全国の各地で活躍されていることを大変うれしく思っています。さて、この四月より祇園地先の校舎から、一六キロ程南東の西大寺浜に建てられた新校舎に移ってきました。そしてまた、学生の状況もずいぶん変わってきました。昨年度から受け入れた男子学生により、これまでにない活気がみられています。場所的に自動車を通うことも可能となりました。昨年度新設された夜間三年課程では、たくさんの方になることと仕事を終えて登校する社会人達が、夜の9時まで熱心に学んでいます。校舎の向かいには研修センターもあり、同窓会などで利用することもできますので、卒業生のみなさん、西大寺の新校舎にぜひ来てみて下さい。教員一同お待ちしております。

介護福祉科夜間課程

教務主任 白井恵美子

皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

昨年四月から開設した介護福祉科夜間課程は、今年四月から吉井川キャンパスに移転しました。新校舎にて新一年生四七名を迎え、二年生二二名でスタートしました。働きながらの勉学ですので、健康に配慮しながら仕事と勉強の両立をして、一期生は無事進級しました。順調に一年間過ごせた人ばかりではなかったようですが、介護福祉士を目指すという強い気持ちがベースにあり頑張れたのだと思います。「仕事はしんどいが学校は気分転換になる」「一人でくじけそうになるけど仲間がいるから」との言葉が聞けます。新一年生の男女比は約一対一で、男性が若干多いクラスです。年齢も幅があり、一〇代が半分占めています。一・二年生交流しながら、賑やかに夜、明らかと過ごしています。

新キャンパスは

快適ですよ

教務主任 池田 明子

同窓生の皆様お元気でしょうか。福祉研究科は九期生一九名を迎え新キャンパスで四ヶ月が過ぎました。新しい学び舎もピカピカで無機質な様子から、少しずつ人の暖かみのある学び舎に変貌してきています。学生たちは現在基礎実習Ⅱを終え、次の訪問介護実習に向けての充電期間中です。学生たちは、新しい設備な

どが使用できるということの嬉しさ、この校舎での「一期生」という自覚で歴史は作るものと試行錯誤しています。

教室の窓を開けると、児島湾からの芳しい潮風が吹き込んできます。卒業生の皆様も、この穏やかな岡山市内南東部の地域、新永安橋を渡って三〇〇m東。快適な吉井川キャンパスへ一度見学においでください。少し広くなった研究室でお待ちしております。

精神保健福祉科

科長 細谷 要一

同窓会の皆様には日頃よりご支援いただき心より感謝申し上げます。

当科は平成十四年四月新設された精神保健福祉士(国家資格)になるための学科ですが、昨年は旭川キャンパスの小さな教室で二〇名が少々窮屈な思いをしながらも真剣に学び、無事国家試験を受験しました。今春、精神科関係の医療機関や社会復帰施設などを中心にそれぞれ就職先を見つけ、卒業していききました。当初の同窓生を送り出し、同窓会の皆様の仲間になさっていただくこととなりました。どうぞ宜しくお願いします。



お願い致します。今年四月からは新しい吉井川キャンパスに介護福祉科、福祉研究科と共に移転し、広くのびのびとした教室や静かな環境を与えられました。今年度も、昨年同様この職種に「思い」をもった三〇名の新しい学生が集まり、学生、教員とも昨年も増して精神保健福祉の専門家を目指して充実した一年にしたいと思っています。同窓生の皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

《同窓会員名簿購入のお願い》

購入を希望される方は、振込用紙を送付させていただきますので、下記までご連絡ください。

旭川荘厚生専門学院 同窓会係
〒703-8560 岡山市祇園地先
TEL (086) 275-0145
FAX (086) 275-3283

振込用紙ご依頼欄に、
郵便番号・住所・氏名・電話番号
通信欄に、

学科名・期生・コメントを

ご記入のうえ、振込用紙を郵便局窓口へお願いいたします。

1冊 2,000円

(振込手数料は同窓会が負担します)

＜入試情報＞

今年度から、試験会場が「岡山アークホテル」となります。

推薦入試	10月23日(木)
一般1次入試	1月22日(木)
一般2次入試	3月4日(木)
一般3次入試	3月23日(火)
社会人入試	3月23日(火)

＜主な年間行事＞

キャンドルサービス	10月15日(木)
献帽式	10月17日(金)
第31回 学院祭	10月31日、11月1日
卒業演奏会	2月下旬
卒業証書授与式	3月12日(金)

同窓会員数

平成15年3月現在(平成15年3月卒業生)

同窓生総数	6,428名(310名)
保育科・児童福祉科	1,289名(47名)
福祉情報科	232名(12名)
第1看護科	1,919名(94名)
看護科・第2看護科	1,789名(49名)
福祉科・介護福祉科	1,030名(69名)
福祉研究科	149名(19名)
精神保健福祉科	20名(20名)

学院だより

卒業生だより

児童福祉科 三十期生

戸山 沙里

学院を卒業して一年が過ぎました。皆さんお元気ですか。

私は現在旭川乳児院で働いています。昨年は旭川児童院で臨時職員をしていましたが、旭川荘の採用試験を受けて、晴れて今年度から正職員になる事ができました。

配属先は乳児院に決まりましたが、今まで経験のない現場なので最初は自信がありませんでした。子どもたちには人見知りされ泣かれ不安でいっぱいの日々でした。

しかし職場の先輩方が丁寧に教えてくださり今は毎日楽しく仕事をしています。子ども達の笑顔を見てパワーをもらい頑張っています。

三十期の皆さん元気に頑張っていますか。又皆で集まりたいですね。先生方、同窓生の皆さんお互い体に気をつけていきましょうね。

第一看護科 十九期生

高川 敦子

私は学院卒業後、重症心身障害児施設に就職し、当初は医療行為の上達しない自分に苛立ちを感じ、看護師として機能しているのかと何度も思い悩みました。しかし、就職して5年目を迎えた今、いつも私の頭の中にあるのは信頼関係を築く事の重大さです。これは、学院卒業時に同級生全員で冊子にした「私の看護観」に文章にしたことでもあります。

これからも、悩みながらもまた原点に回り自分を見つめ直したい。そして、対象の方にとってもう一つの家族となり、人生を支えていきたいと思っています。

介護福祉科 十二期生

福増 香織

特別養護老人ホーム「第二鶴見荘」に就職して早三年目になりました。人相手の仕事は思った以上に大変です。利用者から教わることも多く、毎日が勉強で、やりがいのある楽しい仕事だと感じます。利用者のケアについて悩むことも度々ありますが、そんな時、先輩職員に教えてもらって「初心を忘れず」という言葉を思いだし、日々頑張っています。これからも初心を忘れず、優しさを持って、利用者との関わりを大切にしていこうと思います。

精神保健福祉科 一期生

大石 巨子

私は今、小規模通所授産施設で働いています。ここは、地域で生活する精神の障害を持たれる方が、一般就労の前段階として利用する施設で、メンパーさん各々が目標を持って働かれています。私は主に、皆さんが働きやすいよう環境を整える役割を担っており、常に「メンパーさんが主役でいられること」を念頭に置いて仕事をしています。前進しては後退する毎日ですが、目標達成に向かって

て伴走者となり、共に歩んでゆけたらと思っています。

人事異動

☆退職された先生

岡村 謙一
草 地 淳 雄
藤 原 恭 子

☆新任の先生

石 橋 真 二
赤 澤 美 枝
藤 原 美 恵 子

☆荘内異動された先生

神 宝 誠 子
川崎祐宣記念総合在宅
支援センター

寄付のお礼

同窓会 中尾桐江会長より、ご寄付をいただきました。ありがとうございます。

著書

堤 史(中尾桐江)

「あした天気になあれ」
「コスモスが揺れる日」

